

# 健康だより

## 皮膚トラブルについて

夏は皮膚のトラブルがおこりやすい季節です。皮膚のトラブルを防いで夏を楽しく過ごしましょう。

皮膚は強い紫外線に当たると日焼けするだけでなく抵抗力も低下します。また、高温多湿の環境では細菌やカビが繁殖しやすく、とびひや水虫などの感染症が

起こりやすくなりますし、汗が皮膚を刺激してもともとあった皮膚炎やあせもを悪化させることもあります。海や山でのアウトドアの際に起こる虫さされやかぶれも皮膚トラブルにつながることがあります。



### ◆気をつけたい皮膚のトラブル

#### 《日焼け》

もしも日焼けしてしまったら、ぬらしたタオルや氷で十分冷やして皮膚への刺激を避けましょう。暑い風呂や化粧、アクセサリーや時計は皮膚に刺激を与えるので避けたほうがよいでしょう。水ぶくれができてしまったら、清潔なガーゼなどで保護するとよいですが、皮膚科で受診されることをお勧めします。



#### 《とびひ》

子どもに多く、あせもや虫さされなどをかきむしったところに細菌が感染してかゆみのある水ぶくれやかさぶたをつくります。その水ぶくれをかきやぶると全身に広がります。日ごろから手洗いをし、つめを短く切っておきましょう。とびひは感染力が強いので早めに皮膚科で受診しましょう。

#### 《水虫》

白癬菌が付着、繁殖すると水虫になります。菌が付着しただけでは水虫にはなりません。高温多湿などの環境がそろって水虫になってしまいます。かゆみや水ぶくれ、皮むけなどの自覚症状があっても水虫ではない場合もありますので自己判断せずに皮膚科で受診するようにしましょう。水虫の予防は皮膚を清潔にし、乾燥させることが大切です。足の指の間の水分や汗をよく拭き、できるだけ乾燥させた状態を保ちます。通気性のよい履物、吸湿性のよい靴下にするのも効果的です。

### ◆夏の皮膚トラブルを防ぐには…

皮膚に汗や汚れを残さないように入浴やシャワーで清潔にすることが第一です。

また、外出するときは日焼け止めクリームや帽子・日傘などを使って紫外線対策も忘れずに行いましょう。

島ヶ原支所住民課 保健師 山出美幸



## NHK「その時歴史が動いた」から

去る4月16日、NHK総合テレビで「その時歴史が動いた・人間は尊敬すべきものだ」という番組が放送されました。

この番組は部落解放をめざした水平社の創設（1922年）に至る経過を、創始者のひとりである西光万吉という人物を通して社会的背景を伝えながら描いたものでした。

番組終了後、NHKへ批判を含めたさまざまな意見が寄せられたようですが、同和対策・地域改善対策に関する法律の失効後、部落問題についていろいろ問い直されている今、多くの人たちに改めて部落問題について考えるきっかけとなったように思われます。

ただ、この番組で「米騒動をきっかけに、政府は部落の人たちに差別の責任を押しつけた部落改善事業に着手」とする内容に対して疑問があります。差別の原因は被差別部落側にあるとする考え方は江戸時代末期からあり、それに基づ

### 明日に向って

～差別をなくしていくために～

く行政主導の部落改善事業は、明治33年（1900年）から始まりました。しかも、伊賀が全国で最初に部落改善団体が組織された地でした。これは、伊賀の被差別部落が経済・衛生などあらゆる面で悲惨な状態にあったことを物語っています。つまり、伊賀では、米騒動が起こる18年も前から部落改善事業が行われていたのです。

部落改善団体は、被差別部落の人たちを強制労働に従事させ、きまりに反する行為をすると暴力を加えたため、差別をより増長させました。この部落改善事業に反対した被差別部落の青年たちが中心となって組織したのが水平社です。

NHKの番組は、多くの人たちに改めて部落問題を認識してもらったきっかけとなりました。正しい歴史を知り、差別・人権問題についての認識をより深めてもらえることが、問題解決の近道であると思えます。

（本庁総務課市史編さん係）  
■このコラムは毎回いろいろなテーマで人権についてお話しています。  
ご意見などは本庁人権政策課 ☎ 22-9631 ✉ jinken@city.iga.lg.jpへ